

米国大使館後援 現JET参加者への少額助成金制度 よくある質問

資格とガイドライン

Q. どんな人が応募できるのですか？

A. 現在、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に参加中の米国人です。

Q. 誰かと一緒に応募しても、かまいませんか？

A. 主たる応募者が米国人のJET参加者でありさえすれば、プロジェクトの実施に必要である限り、何人で応募してもかまいません。一緒に応募する人は、米国人やJET参加者でなくてもかまいません。過去には、米国以外の国のJET参加者、日本人英語教師、家族や地域の人と一緒に応募した例があります。

Q. これまでに、どんなプロジェクトが実施されましたか？

A. 過去の少額助成プロジェクトの一覧は、下記のリンクをご覧ください（英語のみ）。

- [少額助成金報告書2016-2017年](#)
- [少額助成金報告書 2017-2018年](#)
- [少額助成金報告書2018-2019年](#)

Q. プロジェクトはいつ開始し、いつ終了する必要がありますか？

A. 開始時期は2021年1月15日以降としますが、2021年1月～2022年2月の間であれば、実施時期はいつでもかまいません。終了期限は、2022年2月末とします。

Q. いくつかのイベントや活動を、1件のプロジェクトにまとめることはできますか？

A. できます。応募時に、全てのイベント/活動に関する情報を記載して下さい。

Q. 過去に助成金を受けた人に、話を聞くことはできますか？

A. できます。[こちら](#) からFacebookのグループに参加すれば、過去に助成金を受けた人に連絡をとれます。

Q. 助成金の内容を派遣先の機関/学校に説明したいのですが、日本語の資料はありますか？

A. 次のリンクを参照して下さい。

- [USJETAAに関する説明](#)
- [少額助成金制度に関する説明](#)

Q. 応募した場合、どんな審査が行われますか？

A. プロジェクトの使命、効果、実施可能性を評価し、そのプロジェクトが英語教育、将来的な米国訪問や留学の推進、国内の学校・地域への米国文化の紹介にどれくらい寄与するか確認します。

Q. 日本での配属先は、審査に影響しますか？

A. いいえ、日本国内での配属先や地位に関係なく、全ての現米国人JET参加者からの応募を平等に審査します。同じ地域に配属されたJET参加者が別々に応募し、それぞれの応募内容が評価されて助成金を獲得する可能性もあります。愛知、秋田、千葉、広島、岩手、香川、神奈川、高知、熊本、新潟、沖縄、栃木、鳥取、富山、山形、山口各県のJET参加者には、応募を強くお勧めします。上記の地域からは、まだ1度も応募を受理していないからです。

助成金の支給

Q. プロジェクト実施のため、どれくらいの予算を要求すればよいですか？

A. 通常、助成額は200~1,000ドルです。プロジェクト企画書に記載した要件に基づき、項目別に現実的な予算を記載して下さい。活動内容が英語書籍の購入のみである場合、支給額は500ドル未満となる点にご注意下さい（提案の範囲と効果に応じて、さらに少なくなる場合もあります）。USJETAAが、過去の類似プロジェクトの費用を参考にして、支給額を調整することもあります。あなたのプロジェクトに類似した過去案件に基づき、USJETAAから予算を提案することも可能です。

Q. 既に計画済みのプロジェクトや活動に、助成金を使えますか？

A. 助成金の趣旨に沿い、かつイベントまたは活動の開始前に助成金交付が承認された場合、既に計画済みの活動またはイベントに助成金を使用できます。2021年1月15日以前または助成期間終了後に実施されるイベントには、助成金を使用できません。

Q. 助成金はいつ支給されますか？

A. 2021年2月末までに支給されます。支給の時期を分散させるため、実施時期が早いプロジェクトから優先的に交付していきます。ですから、プロジェクトを開始するには、いつまでに支給が必要か、応募用紙に記載して下さい。

Q. 応募用紙を提出した後で、追加で資金を要請できますか？

A. プログラム期間中であれば、いつでも追加資金を要請できます。依頼内容、追加資金が必要な理由、希望する支給額を、USJETAAにお知らせ下さい。財源を確保できない場合もあるため、要請が必ず承認されるとは限りません。